

令和 3 年度内部モニタリング結果を受けての
令和 4 年度における対応について

豊中市伊丹市クリーンランド内部評価委員会における令和 3 年度の内部モニタリング評価結果を受け、令和 4 年度に行うこととしていた各対応について、下記のとおり実施いたしましたので、報告いたします。

リサイクルプラザ			
	令和 4 年度における対応	具体的取り組み内容	取り組み結果（効果）
資源化について	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き両市と搬入物検査を実施し、不適正品目の混入低減や適正な分別排出に向けた啓発を行うとともに資源化率の向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染防止に努めながら、両市と協働の下、プラスチック製容器包装（10 回）と不燃ごみ（8 回）の搬入物検査を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれ前年度を上回る搬入物検査を実施し、資源化率の維持に繋がった。
事故・故障について	<ul style="list-style-type: none"> リサイクルプラザにおける労働災害ゼロを継続するために、受託者に対して保護具の検証や作業手順の徹底等を引き続き指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 針刺し事故防止に向け、手選別作業に用いる手袋の改善や二重着用などの対策を継続。 充電式電池等の発火による目の負傷防止のため、防塵グラスを着用し作業。 手選別作業員を少人数グループに編成し、他グループ作業員との接触を抑えるなどの感染防止対策。 	<ul style="list-style-type: none"> リサイクルプラザでの労働災害ゼロを継続することができた。
	<ul style="list-style-type: none"> 充電式電池を内蔵する小型家電製品の拠点回収について豊中市、伊丹市と協働して啓発し、リサイクルプラザの発火件数の低減を図るとともに、更なる消火設備増強工事を検討するなど施設の安定稼働を維持する。 	<ul style="list-style-type: none"> 両市と情報共有し、連携してホームページや広報誌、SNS での動画配信等により、リチウムイオン電池やそれらを内蔵する小型家電製品の適正な排出に向けた市民等への周知や啓発を継続。 小型家電回収ボックスの更なる拡充や活用促進を豊中市、伊丹市へ依頼。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民等への周知・啓発を継続することで、施設の安定稼働を維持することができた。 次年度、プラスチック容器包装ラインに消火栓の増設を行うこととなった。 伊丹市において、次年度より小型家電回収ボックスが 12 か所となり、更なる拡充が図られた。

リサイクルプラザ			
	令和4年度における対応	具体的取り組み内容	取り組み結果（効果）
事故・故障について	<ul style="list-style-type: none"> 火災の原因となる充電式電池等の分別収集など適正処理に向けた検討を豊中市、伊丹市と協働し進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊中市の充電式電池や小型家電製品の分別回収に向けて、豊中市の収集作業担当者やリサイクルプラザ運営受託事業者と受け入れについての調整を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊中市で小型家電と電池類という新たな分別収集が次年度10月を目途に開始されることとなった。 伊丹市においては、拠点回収の充実を図ることとなった。
環境学習・啓発について	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、安全な施設見学やイベントの開催について検討し準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染対策を取りながら見学やイベントを開催した。 施設見学に来場できなかった小学校を対象に施設紹介DVDを配布したり、オンライン授業等の対応を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中ではあったが、安全に配慮した施設見学やイベントを実施することができ、前年より見学者数が増加した。
	<ul style="list-style-type: none"> リサイクルプラザと焼却施設、クリーンランドひろばを合わせた効果的な環境学習メニューを企画実施することにより、更なる来場者増を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度途中から、展望フロア開放デー、市民講座、ひろばイベントを同一日に開催することで、より効果的で集客力の高い環境学習メニューとして実施した。 クリーンランドひろばを活用した新たなイベントとして「ジョイントひろば」開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種事業やイベントを実施する中で、ごみの減量や分別等の環境問題に係る効果的な啓発を行うとともに、来場者の増加に繋がった。

令和 3 年度内部モニタリング結果を受けての
令和 4 年度における対応について

豊中市伊丹市クリーンランド内部評価委員会における令和 3 年度の内部モニタリング評価結果を受け、令和 4 年度に行うこととしていた各対応について、下記のとおり実施いたしましたので、報告いたします。

ごみ焼却施設			
	令和 4 年度における対応	具体的取り組み内容	取り組み結果（効果）
ごみ焼却施設について（規制基準）	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の影響により、可燃ごみの搬入量実績が増減することが想定されることから、焼却炉の運転計画については、状況に応じた変更を行い施設の安定稼働に努める。また、ごみピット残量については、可能な限り少量を維持していくことで、災害や機器トラブルなどの不測の事態に対応できるよう調整を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 可燃ごみ搬入計画量を大きく下回ったことから運転計画の適宜見直しを行った。 運転計画の見直しにより、ごみピット残量を可能な限り少量維持に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 炉の停止に至るトラブルがあったが運転計画の適宜見直しにより、前年度同様の焼却量まで上方修正することができた。 ごみピット残量については豊中市、伊丹市の搬入受入に支障がないよう適正な管理ができた。
	<ul style="list-style-type: none"> 排ガス・排水などの全ての規制基準項目において、年間を通して基準をみたせるよう測定値の動向を注視し、適正な維持管理に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 排ガス、排水の各測定値のデータ確認および推移確認を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 排ガス、排水のすべての項目において基準値を満たす結果となった。
事故・故障について	<ul style="list-style-type: none"> 作業前ミーティングを実施するとともに、業務に見合った作業マニュアルを作成し、定期的に点検と見直しを行い、労働災害ゼロをめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> 都度作業前ミーティングを実施した。 作業マニュアルの点検・見直しを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 労働災害ゼロを達成することができた。
	<ul style="list-style-type: none"> 適切な消火活動を行えるよう、今後も継続して消火訓練を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 大型可燃ごみ破砕機にて火災が発生し、自衛消防隊による初期消火を実施した。 ※火炎が収まらず豊中消防へ出動要請を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の防火防災意識の向上が図られた。 定期的に消火訓練を行うことで火災時の対応力の維持向上が図られた。さらには

ごみ焼却施設			
	令和4年度における対応	具体的取り組み内容	取り組み結果（効果）
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の火災発生についてクリーンランド全体で振り返りミーティングを実施した。 ・ 今後の火災対応に備えて、ビブス・ホワイトボード（シート）等を導入した。 ・ 5月に破砕選別コンベアにて火災が発生したと想定した訓練を実施 ・ 総合防災訓練（消火・避難訓練）を実施した。 	職員の防火防災意識の向上が図られた。
資源化について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、ごみ焼却施設の安心・安全で効率的・効果的なプラントの運転・維持管理を行うことにより、高効率で安定した発電量が確保できるよう、年間の運転計画策定に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の安定稼働に欠かせない定期補修工事について、仕様・工程通り着実に履行できた。 ・ 状況に応じた運転計画の見直しを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例年同様の安定した発電量を維持することができた。